

平成27年度公益財団法人淡海環境保全財団 事業報告書
 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1.ヨシ群落保全事業

ヨシ群落は、湖国らしい滋賀の原風景であり、生物の生息場所、湖岸の浸食防止、水質保全等多様な機能を有し、琵琶湖の保全に大きな役割を果たしていることから、ヨシ群落を保全するための事業を継続して実施した。

a.公益事業

(1)ヨシ群落維持育成事業【県委託事業】 決算額：11,999千円

浜欠けの著しい琵琶湖岸において、漂砂防止突堤を設けてヨシ帯の保護を行うとともに、ヨシ育成を阻害するヤナギの伐採など以下の事業を行った。

事業名	施工場所等	実施時期	実施概要	実績	計画
ヨシ群落維持育成事業	彦根市 新海町	12月	漂砂防止対策 ・木杭突堤工	L=30m : 1基	L=30m : 1基
	彦根市 新海町他	12月～3月	ヨシ帯維持管理 ・ヨシ刈取り ・清掃	実施面積 : 2.80ha	1式
	野洲市他	9月～3月	ヨシ刈り等を行うボランティア活動団体に助成	助成団体 : 9団体 助成額 : 978,305円	1式
	近江八幡市 安土町下豊 浦他	10月～12月	ヨシ再生の可能性が高い場所におけるヤナギ等伐採	伐採本数 : 84本	1式

《事業の成果等》

漂砂防止対策などのヨシ帯再生事業や、過年度までのヨシ刈りなどのヨシ帯維持管理事業の実施や今年度のヤナギ等の伐採によってヨシ帯の回復は一定図られつつある。

また、ヨシ刈りを行うボランティア団体活動への助成を行い、行政、県民が一体となった健全なヨシ帯の保全や維持管理の取組みが推進した。

(2)ヨシふれあい事業・ヨシ環境学習推進事業・琵琶湖ヨシ拠点整備事業【自主事業】

小学生を対象にヨシ苗の植栽、ヨシ刈り等の体験を通じて環境意識の醸成を図る「ヨシ学習会」の開催はじめ、ヨシ群落の重要性と保全の意義を認識してもらうための普及啓発活動を実施した。

事業名	実施場所	実施時期	実施概要	実績	計画
ヨシふれあい事業 決算額： 471千円	ピアザ淡海	8/19	「滋賀学び発見」にてヨシ製品を展示・販売	1回	1回
	びわ湖環境ビジネスメッセ	10/21～23	びわ湖環境ビジネスメッセでヨシの役割、ヨシ製品をPR	1回	—
	野洲市安治	11/3	ヨシボランティアを募り琵琶湖湖岸のヨシ植えを実施	参加者 22名	1回
	琵琶湖岸各地	10月～2月	企業、団体等へのヨシ群落保全活動支援(ヨシ植栽・ヨシ刈指導)	10回 参加者 2,170名	10回
ヨシ環境学習推進事業 決算額： 941千円	守山市 中洲小学校 他 11校	6月～1月	ヨシ学習(座学)、ヨシ植栽、ヨシ刈り、簾づくり	12校 参加者 560人	12校
琵琶湖ヨシ拠点整備事業 決算額： 106千円	草津市下物町	4月～3月	施設の維持管理とともに、今後の活用方法等について県と協議、検討	1式	1式

《事業の成果等》

ヨシ群落保全にかかる普及啓発等を継続して実施してきたことにより、ボランティア活動、ヨシ学習は定着しつつあり、参加者等の意識の向上につながる取り組みができています。

b.収益事業（収入額 16,305千円）

(1)ヨシ苗育成事業・ヨシ紙製作事業・ヨシ腐葉土製作事業

平成9年にヨシ苗増苗方法の特許を取得して挿し木ヨシ苗を育成、販売するとともに、刈り取ったヨシを活用してヨシ紙、ヨシ腐葉土の製作・販売した。

事業名	実績				
	数量				
	期首在庫	製作	販売	期末在庫	
ヨシ苗育成事業 決算額： 12,331千円	ヨシ苗(マット)	2,971枚	1,150枚	963枚	3,104枚
	ヨシ苗(ポット)	2,760個	9,352個	824個	6,262個

・1マットは4ポットから製作
 ・マット製作用にポット4,600個(マット1,150枚相当)を使用
 ・期末在庫は、不良分(マット54枚、ポット226個)を除く
 ・期末在庫は、ヨシふれあい事業ボランティア植栽分(ポット苗200個財団提供)を除く

ヨシ紙製作事業 決算額： 2,707千円	<ul style="list-style-type: none"> 製作実績：厚口A4 4,500枚 厚口名刺 30個 販売実績：最厚口全紙 6,625枚 最厚口A4 3,290枚 栞 806枚 絵はがき 2,524枚 その他、詳細は下表(ヨシ紙製品)のとおり
----------------------------	--

事業名	数量				
	期首在庫	製作	販売	期末在庫	
ヨシ腐葉土製作事業 決算額： 1,267千円	ヨシ腐葉土(20L)	110袋	787袋	847袋	50袋
	ヨシ腐葉土(40L)	0袋	86袋	86袋	0袋

ヨシ紙製品

単位：枚

	最厚口全紙	厚口全紙	中厚口全紙	栞	最厚口A4	最厚口A3	厚口A4	中厚口A4	名刺	葉書	絵葉書
期首在庫	9,018	500	1,189	7,729	5,310	1,201	2,000	3,030	57	8,075	82,024
製作	0	0	0	0	0	0	4,500	0	30	0	0
販売	6,625	※500	880	806	3,290	411	2,080	1,220	14	1,685	2,524
期末在庫	2,393	0	309	6,923	2,020	790	4,420	1,810	73	6,390	79,500

※販売枚数の内、500枚は厚口A4、厚口名刺の加工用として計上

《事業の成果等》

挿し木ヨシ苗は病虫害に強く、琵琶湖でのヨシ地造成に広く使われた。

2.自然保護・環境保全事業

湖中や湖底環境を改善するための水草除去、刈取後の水草堆肥づくりをはじめ、自然保護啓発活動などにより県民、NPO、事業者等の多様な主体の連携、学び、発見の場づくりなど、琵琶湖の環境保全につながる各種事業を実施した。

a.公益事業

(1)水草刈取管理事業・水草資源循環促進事業【県委託事業】

南湖を中心に異常繁茂した水草を機械で刈取り、または根こそぎ除去された水草の堆肥化を行い、農地での活用を促進させるなどの事業に取り組んだ。

事業名	事業内容	実施時期	実績	計画
水草刈取管理 事業 決算額： 95,557千円	琵琶湖における刈取機により刈り取られた水草の揚陸運搬有効利用	6/29～ 10/9	刈取量 : 2,235.74t	1,303t
	南湖に繁茂する水草のマンガン(漁具)による除去	4/21～ 2/12	除去面積 : 1,304.0ha 除去量 : 2,855.6t	除去面積 300ha×3回
	モロコの南湖における回遊路を確保するための水草除去	5/26～ 2/9	除去面積 : 60.6ha 除去量 : 162.5t	除去面積 20ha×3回
	特に密集した水草の除去	6/16～ 2/10	除去面積 : 164.8ha 除去量 : 285.2t	除去面積 80ha×2回
	南湖東岸の湖流を促進するための水草除去	10/21～ 12/25	除去面積 : 105.7ha 除去量 : 598.8t	除去面積延 30ha×3回
	矢橋帰帆島中間水路における水草除去・刈取	6/18～ 12/2	刈取除去面積 : 4.8ha 刈取除去量 : 92.09t	刈取除去面積 3.2ha
	水産資源の回復を目的に湖底環境の改善を図るために除去された水草の揚陸・有効利用	5/19～ 12/16	揚陸量 : 926.6t	1式
水草資源循環 促進事業 決算額： 1,167千円	水草堆肥配布イベントによる普及啓発	9/26～ 10/11	配布場所 : 計6箇所 配布人数 : 764人 配布数量 : 237m ³	1式

《事業の成果等》

南湖約430ha(延1,635.1ha)での水草の根こそぎ除去および琵琶湖全域にわたる水草の刈取りにより、刈取で2,235.7t、除去で4,828.7t、合計で7,064.4t(湿重量)の水草を揚陸、運搬、有効利用し、大量に繁茂した水草の対策に取り組んだ。

また、矢橋中間水路における刈取除去量92.09tについては、特定外来種であるオオ

バナミズキンバイが混入していたことから、一般廃棄物として処分した。

水草資源循環促進事業では、水草たい肥モニターが2,175人に達し、モニター報告では8割以上のモニターから「収穫量が多くなった」、「引き続き使いたい」の回答を得ている。

(2)自然保護啓発活動事業・ススキふれあい事業・マザーレイクフォーラム事業

【県委託事業等】

自然保護啓発事業では、水鳥観察会の協賛や愛鳥週間の後援、ススキふれあい事業では、奥伊吹でのボランティアによるススキ刈イベントを実施した。

また、環境保全活動に取り組む県民や団体等が、琵琶湖の将来のために話し合う「マザーレイクフォーラムびわコミ会議」の運営補助や本ホームページの保守を行った。

事業名	事業内容	実施時期	実績
自然保護啓発活動事業 【協賛等】 決算額：107千円	琵琶湖一斉水鳥観察会 (県内6会場)	1/30,31,2/6	参加者：151名
ススキふれあい事業 【自主事業】 決算額：201千円	ススキ刈ボランティア (奥伊吹スキー場)	11/1	参加者：68名
マザーレイクフォーラム 事業【県委託事業】 決算額：1,385千円	びわコミ会議運営補助等 (コラボしが21)	8/22	参加者：約200人

《事業の成果等》

自然保護啓発活動事業、ススキふれあい事業により、自然保護、生態系保全に対する意識の向上につながる取り組みができた。また、マザーレイクフォーラム事業により、県民、NPO、事業者等様々な主体が情報の共有や協働を進める場を提供できた。

3.地球温暖化防止活動事業

地球温暖化防止の出前講座やイベントでの啓発を中心に、県民への普及啓発活動を展開した。そして、その推進のため、知事から委嘱された地球温暖化防止活動推進員の活動の支援にも力を入れた。また、事業者に対しては、エコ・エコノミー推進事業を行った。

さらに、二酸化炭素排出量の少ない住宅の普及を図るため、個人用既築住宅太陽光発電システム設置推進事業を行い、再生可能エネルギーの普及促進に努めた。

a.公益事業

(1)地球温暖化防止活動推進センター活動事業【県委託事業等】 決算額：8,298千円

推進員の研修会の開催、推進員等の協力により、県民等への温暖化の防止対策に関するイベント啓発等の普及啓発を行った。また、普及啓発に必要な資材の作成やメンテナンスを実施するとともに、資料提供や啓発資材の貸し出しを行った。

温暖化防止に対する県民意識の醸成を図るため、「節電・省エネ提案会」を県内各地で開催し、うちエコ診断および節電・省エネに関する普及啓発を行った。

事業名	事業内容	実施時期	実績	計画
普及啓発活動	各種イベントにおいて推進員の協力で普及啓発を行う	通年	啓発回数 55回	50回
推進員研修	推進員の活動実践力を高めるとともに、グループ活動の支援を行う		必須研修会 4回 特別研修会 3回	2回
節電・省エネ提案会	イベントのフェア、企業、自治会などのセミナーを通して省エネ診断を実施	通年	節電・省エネ提案会 36回	30回
情報提供・発信	ホームページの更新	通年	月3～4回程度	随時
	メールマガジンの発信	通年	月間版 12回	12回
随時版 34回			36回	

(2)うちエコ診断事業【県委託事業】 決算額：1,499千円

全国センターの認定を受けた「うちエコ診断士」(20名)が、環境省のうちエコ診断ソフトを使用し、各家庭の診断を行いエコな暮らし方をアドバイスするうちエコ診断事業を実施した。

また、新規に1名が試験に合格し、「うちエコ診断士」となった。

	平成27年度		平成26年度	
	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)
診断件数	158件	150件	100件	100件

(3)地域における地球温暖化防止活動促進事業【環境省補助】 決算額：4,900千円

地域の地球温暖化防止活動推進センターが、推進員とともに各地域で温暖化対策の中心的役割を効率的に発揮できる体制を構築し、特に過去の事業から県内温室効果ガス排出実態の分析や啓発の新教材の作成を行った。

温暖化防止セミナーの開催	平成27年10月7日
家庭の省エネアンケートの実施	回収数1,557件
滋賀県温暖化防止活動連絡調整会議の開催	2回
分析検討委員会の開催	2回
教材開発委員会の開催	3回
環境学習教材集の発行(32プログラムの掲載)	2,000部発行
びわ湖環境ビジネスメッセ啓発	平成27年10月21日～23日

(585名よりアンケート調査実施。うちエコ受診者16名)

(4)低炭素社会づくり学習支援事業【県委託事業】 決算額：2,695千円

地球温暖化問題を児童・生徒に身近な問題としてもらうため、また地域の団体における温暖化対策に関する意識の向上を図り、低炭素社会づくりの実践につながるよう、温暖化防止活動推進員等が、学校や地域に出向き、講座を実施した。

また、平成27年度より、初の試みとして、推進員が出前講座を実施する際に活用できる推進員向けマニュアルを作成した。

	H27	H26	H25	H24	H23
実施講座(回)	122	103	123	97	105
講座参加者(人)	3,506	2,595	3,244	3,035	4,186
担当した推進員(人)	235	189	215	131	156

(5)エコ・エコノミー推進事業【自主事業】 決算額：7,243千円

平成26年4月に解散した滋賀エコ・エコノミープロジェクトの寄付金を基に、「環境と経済が両立する持続可能な低炭素社会の実現」に向けた取り組みを行う事業者への支援として下記の事業を実施した。

- ・滋賀県低炭素社会づくり賞低炭素化事業部門受賞者への副賞の贈呈
4社 奨励金各50万円
- ・エコ・エコノミー推進セミナーの開催(平成28年3月29日コラボしが21)
テーマ「COP21パリ協定下の日本の政策と環境ビジネスの方向性」
基調講演 田中聡志 環境省大臣官房審議官：「COP21の成果と今後の取り組み」
竹ヶ原啓介 (株)日本政策投資銀行環境・CSR部長：
「COP21パリ協定下の環境ビジネスの展望」
- ・事業所出前講座 4事業所で実施
- ・広報・情報発信
ホームページでの最新情報の掲載 びわ湖環境ビジネスメッセでの広報活動

(6)個人用住宅太陽光発電システム設置促進事業【県補助事業】 決算額：43,834千円

・個人用既築住宅太陽光発電システム設置推進事業

個人用既築住宅において住宅用太陽光発電システムの設置と併せて一定額の以上の省エネ製品、または、コージェネレーションシステム・蓄電池を購入した者に対し、その導入に要する経費の一部を助成した。

省エネ製品購入	補助実績額	31,763千円	補助金対象件数	638件
コージェネ・蓄電池	補助実績額	6,343千円	補助金対象件数	51件

《事業の成果等》

(1)～(6)の事業については、ほぼ計画通り目標達成することができた。特に出前講座については、推進向けマニュアルを作成し、試行実施し、改善を行い、推進員が講座実施しやすいものとした。また、環境教育教材集は、多くの地域センターを初めとして、様々なところから追加配布や新年度の講座の依頼があるなど、大きな反響があった。

また、推進員支援に関しては、教材ハードチームを初めとして、さらに自主活動が活発となり、活動に積極的に参加する推進員が増え、グループ活動も活性化した。

4.水質保全に関する事業

汚水処理に関する適正な管理、効率化などに関する現場支援を行うとともに、下水道の大切さ、正しい使い方等についての普及啓発に努めた。

また、汚水処理に関する新技術開発等に対する支援に努めた。

a.公益事業

(1)公共下水処理管理技術支援事業[県委託事業] 決算額：22,450千円

県の各下水処理場(4浄化センター)に、週2回、職員を派遣し、施設の適切な運転管理、水質管理に関する現場業務の支援を行った。

(湖南中部浄化センター)

- ・運転管理、水質管理業務に対する指導および支援の実施。
- ・運転管理、環境調査の業務委託、機器、薬品等の発注業務に対する指導および支援の実施。

(湖西浄化センター、東北部浄化センター、高島浄化センター)

- ・包括的維持管理業務の遂行状況の監視、評価に対する技術支援の実施。
- ・包括的維持管理業務業者に対する業務改善の指導および支援の実施。
- ・包括的維持管理業務業者間の協議に対する支援の実施。

(2)普及啓発事業[県委託事業] 決算額：2,848千円

(施設見学案内)

行政、研究機関、海外および一般の方の浄化センターの見学において、下水道のしくみ、処理状況等の説明を行い、琵琶湖の環境(水質保全)を支えている下水道の大切さの普及啓発に努めた。

施設名	団体数	人数
湖南中部浄化センター	31	533
湖西浄化センター	2	102
東北部浄化センター	6	219
高島浄化センター	2	15
合 計	41	869

(広報誌の編集、発行)

下水道に関する知識および情報等を掲載した広報誌「碧い湖」を編集、発行し、市町の役場や公民館等関係機関、図書館、金融機関等、広く県内に配布した。

第47号 平成27年9月発行 13,000部

「特集：浄化センターの微生物」

第48号 平成28年3月発行 13,000部

「特集：湖西浄化センター下水汚泥燃料化施設の本格運転を開始しました」

(普及啓発イベントの開催)

矢橋帰帆等公園の管理者が実施するオータムフェスタの開催に合わせて、下水道事業の普及啓発のため、「Mr.ウォーターパントマイム&湖南中部浄化センターバス見学ツアー」を実施した。

実施日時：平成27年9月27日

パントマイムショー参加者 600人

バス見学ツアー参加者 58人

(3)技術講習、セミナー開催事業[県委託事業] 決算額：2,566千円

下水道の機能とその実態についての知識の習得と技術の向上を図るとともに、日常の維持管理に必要な情報提供のため、公共下水道を管理する市町職員を対象に技術講習会を開催した。

第1回 平成27年6月30日 受講者：28名

「テーマ：下水道の水質管理と臭気調査について」

第2回 平成28年 2月 2日 受講者：41名

第1部「テーマ：マンホールふたの計画的維持管理」

第2部「テーマ：下水道法および下水道事業団法の改正」

(4)技術指導支援事業【国際協力機構委託事業】 決算額：6,615千円

JICA(独立行政法人国際協力機構)の草の根技術協力事業を活用し、「中国湖南省における都市污水处理場運転管理技術と住民の環境意識の向上のためのプロジェクト」事業を実施した。(平成25年度からの3年計画で27年度は最終年次)

・湖南省より6名(省政府関係者2名、現場技術責任者3名、環境教育現場の担当者1名)の研修員を迎え(8月26日～9月11日)、污水处理場の管理体制、技術者養成、運転管理マニュアル、環境教育などの研修を行った。

・技術者派遣(10月26日～11月3日 4名(財団技術者を含む)派遣)を実施し、污水处理場の現地調査、環境教育の実施状況調査、資料収集を行った。

b.収益事業

(5)新技術研究開発支援事業[県等委託事業] 決算額：2,463千円

企業が新技術開発の目的で実証実験等を行うためのフィールドを提供するため、また、企業等が研究等に必要とする試料等の提供において、その調整、指導、助言による支援を実施した。

(フィールド提供の実施)

東洋紡株式会社 平成25年10月～平成28年9月

株式会社アオヤマエコシステム 平成27年 6月～平成28年6月

(共同研究)

住友重機械エンバイロメント株式会社 平成27年2月～平成28年3月

積水化学・関西電力・日水コン共同研究体(下水熱利用)

平成27年10月～平成28年3月

(6)新技術普及促進支援事業[県委託事業] 決算額：2,242千円

企業等の技術・製品等の淡海環境プラザでの展示において調整を行うなどの支援とともに、来館者に対して展示内容の紹介を行うなど情報発信に努めた。

また、びわ湖環境ビジネスメッセ2015の「しが水環境ビジネス推進フォーラム」特設ゾーンに出展し、淡海環境プラザ事業のPRを行った。

(技術、製品等の展示)

平成28年3月31日現在 積水化学工業株式会社ほか15企業等

(7)施設の維持管理事業[県委託事業] 決算額：16,050千円

淡海環境プラザへの来館者が、良好な環境で見学できるように、また、企業展示の維持管理のため、日常点検や定期点検を実施し、安全な状態での施設の維持管理に努めた。

《事業の成果等》

県とJICAの受託事業について、予定どおり実施することができた。特に啓発イベントの見学ツアーは運営を工夫することにより参加者を増やすことができた。

また、淡海環境プラザの技術展示は、出展者が直接、視察対応する機会を増やしたことや環境ビジネスメッセでのPRなどにより、展示物が充実し、新たな出展企業の開拓にもつながっている。

淡海環境プラザの施設はリニューアルを行い、エントランス等に掲示物を増やすとともに、新技術開発支援に活用するプレゼンルーム等を整備した。

5.環境情報発信事業

(1)環境情報発信事業 決算額：408千円

財団の活動を広く一般に周知し、琵琶湖をはじめとする環境保全に関する普及啓発を行うため、以下を実施した。

	(実績)	(計画)
・メールマガジンの発信	5回	適時
・ホームページの更新	随時(アクセス数 85,630(財団59,417、センター12,768、プラザ3,954、太陽光9,491)他エコエコ315,658)	随時
・広報誌の発行	23号を5月末に発行し、各所に配布し、24号を本年5月末に発行する。	

主な庶務事項

理事会、評議員会の開催状況

開催年月日	事項
平成27年4月22日	理事会を開催(決議の省略) (議事事項) 1.評議員会招集の件 (承認)
平成27年5月11日	評議員会を開催(決議の省略) (議事事項) 1.評議員の選任について (承認) 2.理事の選任について
平成27年6月2日	第1回理事会を開催 於：滋賀県農業教育情報センター第4研修室 (議事事項) 1.副理事長の選任について (承認) 2.平成26年度事業報告の承認について (承認) 3.平成26年度決算の承認について (承認) 4.評議員の招集について (承認)
平成27年6月26日	第1回評議員会を開催 於：大津合同庁舎7A会議室 (議事事項) 1.平成26年度決算の承認について (承認) 2.評議員並びに監事の選任について (承認)
平成27年10月19日	理事会を開催(決議の省略) (議事事項) 1.評議員会の招集の件 (承認)
平成27年10月30日	評議員会の開催(決議の省略) (議事事項) 1.評議員の選任の件について (承認)
平成28年3月28日	第2回理事会の開催 於：滋賀県農業教育情報センター第1研修室 1.平成27年度専決処分の承認について (承認) 2.平成27年度収入支出補正予算(案)について (承認) 3.平成28年度事業計画(案)について (承認) 4.平成28年度収支予算(案)について (承認) 5.資金調達および設備投資の見込みについて (承認) 6.評議員会の招集について (承認)

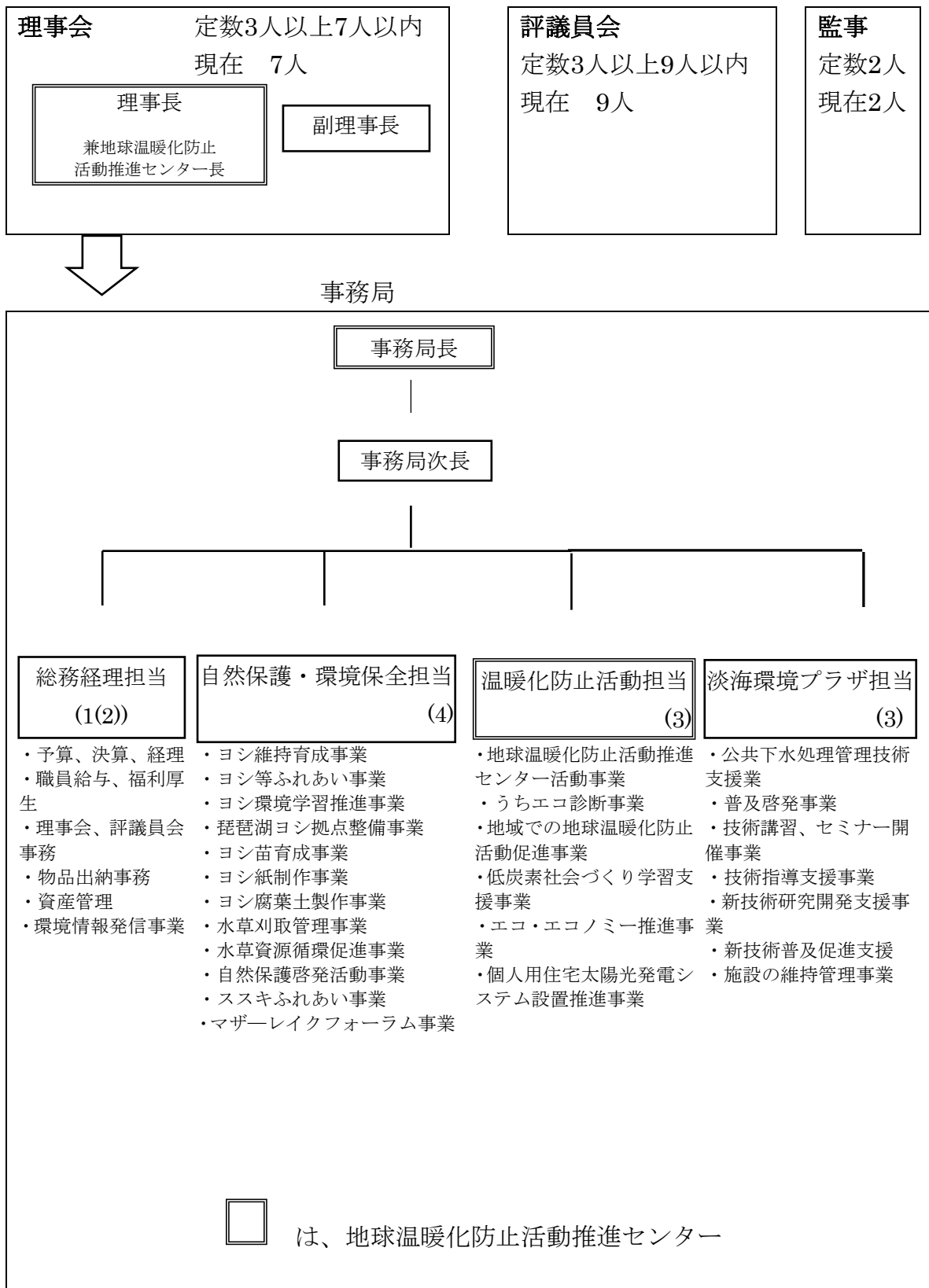
登記関係

年月日	事項
平成27年5月27日	評議員・理事の変更登記 (2名辞任、2名就任)
平成27年9月4日	監事および評議員の変更登記 (2名辞任、2名就任)
平成27年11月19日	評議員の変更登記 (1名辞任、1名就任)

検査監査関係

年月日	事項
平成27年5月25日	監事予備監査
平成27年5月28日	監事監査

組織および所轄事業(H28.3.31現在)



事業報告の附属明細書

平成27年度 小学校ヨシ学習会 実績

番号	学校名	クラス	人数
①	ヨシ植栽		
1	中洲小学校	1	30
2	雄琴小学校	2	56
3	小松小学校	1	30
4	中主小学校	4	119
5	比叡平小学校	1	29

②	ヨシ刈取り		
6	マキノ東小学校	1	12
7	能登川西小学校	2	40

③	ヨシ学習(講義のみ)		
8	多羅尾小学校	5	7
9	笠縫東小学校	3	89
10	石部南小学校	2	48
11	城東小学校	2	53
12	平田小学校	2	47
	合計	26	560

平成27年度 ヨシボランティア活動助成実績

No.	団体名	活動名	活動月日	活動場所	活動面積	奨励金	活動種別
1	山田21ふるさと 健・幸推進委員会	ヨシ刈取活動	1/31(日)	草津市 北山田町	1,800㎡	30,000円	ヨシ刈 ~2,000㎡
2	市民自然観察会	ヨシ刈り体験	12/10(木) ~3/26(土)	近江八幡市 北之庄町	3,200㎡	42,000円	ヨシ刈 2,000㎡~
3	近江舞子内湖を愛する会	近江舞子内湖を 愛する会主催ヨシ刈り	12/5(土) ~2/28(日)	大津市 南小松	3,000㎡	50,000円	
4	滋賀県少年野球交流協会	ヨシ刈り ボランティア活動	12/12(土)	草津市 北山田町	2,250㎡	50,000円	
5	松ノ木内湖管理運営委員会	ヨシ刈取活動	1/5(火) ~2/21(日)	高島市 安曇川町	2,000㎡	50,000円	
6	N. W. G. C (North Wind Generation Club)	草津市おろしも町 ヨシ刈りボランティア	1/23(土)	草津市 下物町	2,500㎡	33,000円	
7	ながはまアメニティ会議	湖岸でヨシを育てよう! (ヨシ植え)	10/3(土)	長浜市 下坂浜町	40㎡	124,345円	
8	びわ湖の水と 地域の環境を守る会	ヨシ群落再生事業	11/7(土)	野洲市 菖蒲	1,200㎡	498,960円	
9	西の湖ヨシ灯り展 実行委員会	西の湖ヨシ灯り展2015	9/26(土) ~9/27(日)	近江八幡市 安土町下豊浦		100,000円	普及啓発
				計	15,990㎡	978,305円	

平成27年度 ヨシ群落保全活動支援

月日	団体名	実施場所	参加者数 (人)	支援内容
10月3日 (土)	ながはまアメニティ	長浜市下坂浜町	47	ヨシ植栽指導
11月3日 (火)	滋賀ダイハツ(株)	野洲市安治	430	ヨシ植栽指導
11月7日 (土)	びわ湖の水と地域の環境を守る会	〃	200	〃
12月5日 (土)	(株)ケイ・オプティコム	高島市新旭町	70	ヨシ刈指導
12月6日 (日)	(株)滋賀銀行 他3社	近江八幡市安土町	530	〃
12月12日 (土)	滋賀県少年野球交流協会	草津市北山田町	250	〃
12月12日 (土)	JR西日本(株)	〃	80	〃
1月23日 (土)	(株)滋賀銀行	草津市下物町	203	〃
1月23日 (土)	North Wind Generate Club	〃	60	〃
2月7日 (日)	(株)伊藤園	東近江市伊庭町	300	〃
	計		2,170	

平成27年度水草たい肥モニターについて

1.水草の資源循環

琵琶湖の水草は、かつて農家で水田や畑の肥料として大量に採取され活用されてきたが、化学肥料の普及などによりその利用は大幅に減っている。水草をかつてのように農地で利用することは、琵琶湖への環境負荷を軽減するとともに、「人の暮らしと琵琶湖のつながりを取り戻す」重要な取り組みであることから、刈取った水草のたい肥化等を行なっている。

2.水草たい肥モニター募集

水草たい肥モニター(水草たい肥の利用者)を募集し、水草たい肥の作物への適合性について実証試験(栽培試験)を実施してもらうため、たい肥の配布やPRを行う。

3.水草たい肥の普及啓発(H27実績)

月日	イベント名	場所	PR資料 配布部数	たい肥サンプル 配布個数
5月31日 (日)	大石かわべ物語(NPO法人瀬田川リパブレ隊)	大津市大石	100	100
8月19日 (水)	夏休み親子水草と学習会	琵琶湖博物館	20	20
8月21日 (金)	夏休み親子水草と学習会	琵琶湖博物館	20	20
8月22日 (土)	マザーレイクフォーラム	コラボしが21	パネル展示等	
9月3日 (木)	BY(びわこよどがわ)展	大阪市天満橋	パネル展示	
10月10日 (土)	甲賀市エコフェスタ	忍びの里プラザ	38	
10月17日 (土)	おおつ花フェスタ2015・秋の緑化フェア	大津湖岸なぎさ公園	115	
10月18日 (日)	多賀ふるさと楽市	多賀大社周辺	45	
10月21日 (水)	びわ湖環境ビジネスメッセ	長浜ドーム	201	
10月22日 (木)	びわ湖環境ビジネスメッセ	長浜ドーム	95	
11月3日 (火)	おおつ花フェスタin和邇	大津市和邇	106	
3月13日 (日)	水産課学習会	琵琶湖汽船	150	150
計			890	290

水草たい肥の配布状況

4.水草たい肥の配布(H27実績)

月日	場所	PR資料 配布部数	配布量m ³
9月26日 (土)	高島市今津町	110	40
9月27日 (日)	近江八幡市津田町	139	55
10月3日 (土)	大津市二本松	128	20
10月4日 (日)	草津市矢橋町	180	50
10月10日 (土)	米原市入江	95	27
10月11日 (日)	長浜市早崎町	112	45
計		764	237



10/11 長浜市早崎町 湖岸県有地



10/30 大津市 旧競輪場駐車場